



あらいけんじ
新井賢次 議員

交通

伊勢崎・高崎・玉村を結ぶ公共交通網の構築を

「私の視点」

町にとって、道路整備と公共交通の充実、住民の暮らしを守り、地域の未来を拓く大切な基盤である。あらゆる手段を駆使して、県に強く働きかけるべきだ。

答弁（町長） 連携強化を重要な行政課題とし、積極的に取り組む

問 東毛広域幹線道路の公共交通手段について、町としてどのように取り組むのか。

答（町長）群馬県の「東毛広域幹線道路BRT構想」は、当町にとって非常に有用な交通モードになり得るものとして捉えていたが、令和2年に採算性などを理由に群馬県が実現に向けた予算化を見送った。現在も高崎市、伊勢崎市とは常に情報交換を行っており、東毛広域幹線道路周辺の開発状況の変化などを踏まえて協議を重ねている。実際に今年度には両市と歩調を合わせる形で東毛広域幹線道路への公共交通の整備を県に要望している。議員の指摘のとおり、伊勢崎市が当町と高崎市との連携を視野に入れ、国道354号を軸とした公共交通網構築を要望していることは、町としても大変心強い情報である。今後も多角的な視点で検討し、連携強化を重要な行政課題と捉え、町の交通利便性向上、さらには地域全体の持続的な発展に資するよう、積極的に取り組んでいく。

角淵地区の歩道整備

問 ぐんま・県土整備プラン2025により、継続事業とされている県道藤岡・大胡線（角淵南工区）歩道整備の進捗状況は。

答（町長）群馬県が実施する事業であり、県に確認をした。県は、「車道の路肩や歩道の幅員が狭いなど、歩行者や自転車の安全な通行に課題があることから、令和6年度から整備事業に着手している。地元の意向を把握するため、住

民を対象にした説明会をこれまで3回実施し、今後開催予定の第4回説明会を経て、住民から寄せられた意見やアンケートの結果を踏まえ、歩道整備計画を取りまとめる予定である。その後、必要な事務手続を実施した後、用地の測量調査を行い、用地のご協力をお願いする予定である。」とのことであった。

玉村町の安心・安全に重要な事業のため、早期完成について引き続き県に対し要望していく。



自転車の通行位置、方向を明示しているが、危険度極まる。歩道整備は喫緊の課題である。（角淵南工区を岩倉橋方面に向かう）

こんな質問もしています

- ・角淵区地内の排水路補修・改修工事について
- ・玉村町浄水場更新等の進捗状況について

令和7年9月定例会

町の課題や今後について、議員が提案も含めて町に考えを聞く「一般質問」。本会議において、白熱した論戦が繰り上げられます。

9月定例会で登壇した7人の議員はどんな視点で質問し、そして町はどう答えたのか。

町の「今とこれから」が見えてきます。

7人の 論戦

鋭く迫る！ 一般質問



皆さんは、どのキーワードに関心がありますか？

まちづくり

町に宿泊施設を（笠原 P.13）
まちづくりについて（三友 P.14）

電動アシスト自転車購入費補助（羽鳥 P.15）
「子ども安全協力の家」を生かす仕組みを（堀越 P.16）

交通・道路

伊勢崎・高崎・玉村を結ぶ公共交通網の構築を（新井 P.11）
角淵地区の歩道整備（新井 P.11）

防災

水害が発生した際、町の対応は（笠原 P.13）
町民の防災要望に対応する体制づくりの進捗は（堀越 P.16）

くらし

米価格高騰への町の食料安全保障について（羽鳥 P.15）
ごみステーションの管理運営と新規設置（羽鳥 P.15）

子育て・教育・福祉

重層的支援体制整備事業の活動内容は（松本 P.12）
未来の町の指針「こども基本条例の制定」を求む（三友 P.14）
手話言語条例はいつ制定する（小林 P.17）

その他

今後の農業支援策（松本 P.12）

※（ ）内は質問者と掲載ページ

